



たかまる通信 第7号

2005.1.21

討議資料

発行

福岡たかまる後援会

TEL0952-30-0555

e-mail takamaro@takamaro.jp

ホームページ:www.takamaro.jp

**節目節目に
過去を振り返ること、
将来に向けた道筋を知る**

「たかまる通信」も7号を発行する運びとなりました。平成17年を迎え初めての発行となります。「一年の計は元日にあり」と言われますが、年の初めにあたって皆様方も一年間の計画や誓いを立てられたことと思います。その際に、前を見据えることはもちろん、過去の活動を振り返ることが大切です。中国の「戦国策」に「前事忘れざるは、後事の師」という言葉があります。過去を振り返ること、将来に向けた道筋がより明確に見えてくるものです。私自身も、昨年多くの課題が見つかりました。その反省をふまえ、新たな一年を踏み出したいと思います。



「己を行うに恥あり」

く新年を迎えるにあたって

行己有恥

資磨書

新年、あけましておめでとうございます。旧年中は、何かとお世話になりありがとうございます。ございました。本年もよろしくおつきあい頂きますようお願いいたします。また、昨年は数多くの災害に見舞われた一年でした。あらためてお見舞い申し上げますとともに、本年は皆様方にとりまして幸多き年となるよう祈念いたします。

昨年一年を振り返って

一昨年の十一月に総選挙に敗れてから、失意の中で越年した昨年のお正月。昨年は、「もつと地元を知ること」を掲げ、選挙区内を歩くことから始めました。その中で、多くの方々に暖かく接して頂き、勇気を頂きました。そして、一年間いろいろなことを学び、体験させて頂きました。

しかし、いろいろなことが理解できるようになってくるにつれて、目の前に立ちのぼる大きな壁も見えてきました。様々な課題を克服するためには何をすればよいか。今年に戦略的に動く「攻め」の年になりたいと思います。

二〇〇五年とは

西暦二〇〇五年は、日露戦争終戦から百年、第二次世界大戦終戦から六十年の節目の年にあたります。小国日本が、国際社会にその名を知らしめた日露戦争勝利からちょうど一世紀。また第二次世界大戦敗戦から数えて、還暦(※1)を迎えるわけです。

この記念すべき節目の年、日本を取り巻く状況を見てみると多くの問題が山積しています。二〇〇五年度末には国債

発行残高は五百三十八兆四千万円となり、約五百兆円の国内総生産(GDP)を上回るなど、国家財政は逼迫。外交問題

では、イラクへの対応、北朝鮮や中国との関係、日米安保のあり方や、国連安全保障理事会常任理事国入りに向けての取り組みなどがあげられます。社会保障制度改革、景気対策、少子化対策、地球環境問題、国と地方自治体の関係、教育問題、憲法改正など重点項目だけでも枚挙にいとまがありません。そして何よりも、多くの犯罪に見られるように日本の社会秩序が崩壊の危機にあります。

未来に向けて日本社会の負の遺産を精算し、新たなステージへ舵を切らなければいけない時期にきているわけです。

佐賀を見ると

佐賀も多くの課題を抱えています。昨年は製造業等で景気回復の兆しは見えてきたものの、個人消費は伸び悩みなかなか景況感是好転していません。出生率は平成十五年度で全国平均が二・二九に対し二・五二と、沖縄、福島、鳥取に次いで第四位(厚生労働省の平成十五年の人口動態統計)(※2)の高水準にあるにもかかわらず、新卒者の求人倍率が五割強という

状況で人材を県外に流失させてしまっており、産業の育成による雇用創出が急がれます。農業県として、次世代の担い手をどう育成するか。有明海の再生、城原川ダム、九州新幹線、中心市街地の活性化など問題は多岐にわたります。そして、道州制が叫ばれる中で、佐賀をどのように位置づけ他地域との差別化を図っていくかというビジョンが求められています。

今年、平成の大合併の年。佐賀二区でも、三月二日に北茂安町、中原町、三根町が合併し「みやき町」が誕生しますし、十月二日には佐賀市が大和町、富士町、諸富町、三瀬村と合併し新生「佐賀市」が

今年の目標

生まれます。また、千代田町も神埼町、脊振村と合併に向けた協議を進めています。行政をスリム化する一方、住民サービスをどのように維持・向上させるかの手腕が問われています。

新しい日本創造への第一歩とすべき年。

まずは、「隗よりはじめよ」で、政治の世界から手をつけなければいけないことは言うまでもありません。国会は国のルールである法律を作る立法府です。そのルールを作る当事者である政治家のモラルが低下し国民に信頼されないようでは、国民全体の規律が守られるはずがありません。

昨年も、多くの政治スキヤンダルがありました。これは、自民党・民主党問わず大いに反省すべきだし、国を立て直すためにはまず政治家そのものが襟を正さなければいけません。

私は、今年の指針を「論語」の中の二説である「己を行うに恥あり」としました。これは、自分自身の行動に責任を持って、恥となるような行動をしないという意味です。

自分の行動は常に人に見られ、評価さ



れている。その緊張感をもって、自分を律していきたいと思います。具体的には、下記のように重点的に取り組んで参ります。

一、より多くの声を吸収します

各地域をくまなくまわることで、皆様方の声の吸収につとめます。

二、政策立案を行います

皆様方の声をベースに、政策立案を行います。政策立案過程の中でも、アドバイスをいただきます。

三、自己研鑽に努めます

各種勉強会への参加、読書による勉強、人脈の構築など自己研鑽に努めます。

尚、上記の活動を行うにあたっては、応援して頂く皆様方のご協力がなければ達成し得ないものばかりです。ぜひ、いろいろな方々との会話の機会を作ってください。その一声一声が私の財産です。よろしくお願ひいたします。

※1 「干支」というものは、「甲乙丙丁…」という『十干』と「子丑寅卯…」という『十二支』をあわせてできた六十通りの組み合わせのこと。つまり六十年で暦が元に戻るから「還暦」という（今年乙酉）。

※2 一九八五年生まれ・今年二十歳の出生率でも佐賀県は五位

サポーター募集中です!!

皆様方のお支えがないと日々の活動ができません。
たかまるサポーターズ・クラブの会員を募集しています。

年間2000円から(千円単位)受け付けております。
サポーターの方には「たかまる通信」を郵送いたします。
(郵送先は、電話もしくは、メール、ハガキ等でお知らせください)
知人等にも是非お声がけください。よろしくお願ひ致します。

振込口座

佐賀銀行 県庁支店 普通 1480907
「たかまろう21」福岡 資磨

このたび、振込用紙もご用意致しました。必要な方はお申しつけ下さい。

※この口座は公職選挙法により個人献金しか受けることができません。
※企業での献金につきましては、別途届出団体にて受けておりますので、後援会事務所にご一報いただければと存じます。



第3回

たかまろう 政経フォーラム開催

演題 「豊かな高齢社会を目指して」

講師 清家 篤先生



慶應義塾大学商学部教授。博士(学術)。専攻は労働経済学。1978年、慶應義塾大学経済学部卒業。同大学商学部助教授を経て、1992年より現職。この間、カリフォルニア大学客員研究員、米国ランド研究所研究員、日本労働研究機構特別研究員、経済企画庁経済研究所客員主任研究官等を歴任。現在、国民生活審議会委員(内閣府)、社会保障審議会委員(厚生労働省)、高齢社会対策の総合的な推進のための政策研究会座長(内閣府)、日本銀行金融研究所顧問などを兼務。近著に「生涯現役社会の条件」中公新書(1998年)、「労働経済」東洋経済新報社(2002年)、「勝者の代償」(訳)東洋経済新報社(2002年)、「生涯現役社会をめざして」日本放送出版協会(2003年)などがある。

いろんな分野から先生をお招きし、私も皆様方とともに「高まるう」という試みで、年に4~5回開催する「たかまろう政経フォーラム」。

第3回目は2005年2月5日(土)。講師は、慶應大学の教授で、労働経済学が専門の清家篤先生。是非ご参加ください。

日時 平成17年2月5日(土)
14:00~(約1時間半程度)

場所 佐賀市民会館 大会議室(2階)
佐賀市水ヶ江1-2-20

会費 500円

※ 尚、お車で越しの場合の駐車料は各人のご負担になります。ご了承ください。



今回で4回目を迎えた「たかまろうクッキング」。
料理が趣味のたかまろうが、男性でも簡単にできるお料理をご紹介します。
今号は、イチゴをつかった簡単デザート。佐賀産のさがほのかを使い、お酒の風味を生かしたゼリーを作ります。



「さがほのか」の洋酒ゼリー

- 材料 ●
- さがほのか……適宜 (佐賀県産のおいしい「さがほのか」。他県に産れる農産物です)
- ゼリー液
- 水……1カップ
- ブランデー……1/4カップ
- コアントロー(オレンジジュリキュール)……小さじ1
- 砂糖……大さじ3
- 粉ゼラチン……5g

- ①イチゴを洗い、へたをとる。大きい場合は食べやすい大きさにカット。
- ②ゼラチンを水でふやかしておく
- ③鍋に水、ブランデー、コアントロー、砂糖を入れ、沸騰させアルコール分をとばす
- ④ゼラチンを加えて溶かし、その後コンロからおろし冷ます
- ⑤器にイチゴをちりばめ、その上にゼリー液を流し込む
- ⑥冷蔵庫で冷やして食べる



作業風景

二〇〇四佐賀インターナショナルバルーンフェスタ」にボランティアスタッフとして参加

昨年十一月三日から七日まで嘉瀬川河川敷を中心に開催された「二〇〇四佐賀インターナショナルバルーンフェスタ」に運営スタッフとして参加させていただきました。昨年は天候にも恵まれ、事故も起こらず素晴らしい大会となりました。これだけ多くの大会を作り上げるためには、表舞台の陰で多くの方が支えている。みんなの力が結集されて初めて、いい大会になることを痛感させられました。



新春立ち

一月一日、昨年に引き続き本年も佐嘉神社前で新春のご挨拶を行いました。大変冷え込みの厳しい中でも、多くの方が初詣に向かわれていました。時折、励ましの言葉をかけてくださる方、立ち止まって聞いてくださる方など、新年早々勇気づけられることしきりでした。



おわりに

毎年一月には剣道の寒稽古が行われます。暖冬といっても、早朝の冷え込みは厳しく、家を出るにも勇気が要ります。武道や茶道、日本舞踊など日本古来の伝統文化では「稽古」という言葉を使います。これは、単に技術の向上に努めるだけでなく、精神的な修練も行うことを目的としているからだと思えます。過酷な気象条件下で行う寒稽古は、精神面のトレーニングにはまさに最適。年初に当たって、心を鍛えるように頑張りたいと思います。



発行/福岡たかまろう後援会

※ いろんなご意見、ご案内を是非お寄せください。

〒840-0804 佐賀市神野東3丁目2番13号
TEL 0952-30-0555
FAX 0952-30-0700
e-mail takamaro@takamaro.jp

鳥栖事務所
〒841-0052 鳥栖市宿町1436
TEL 0942-82-3801
FAX 0942-82-3345

福岡たかまろうホームページ: www.takamaro.jp (毎日更新中)